

インプラント治療の長期安定を得るために 長期に安定させるために何が必要なのか？

講師：江原雄二先生

日時：平成27年4月26日（日）

場所：大阪梅田・ブリーゼプラザ 805会議室



小林 崇将（滋賀県）

平成27年4月26日に大阪のブリーゼプラザで第1回関西支部研修会が行われました。晴天の春日和の中の研修となりました。

インプラント治療を行うにあたり、考えなければならないステップは多くあるが、その症例が長期に



安定を得るために重要な点は適切に診査・診断された症例に対しての治療計画である。

治療の目的を明確にし、患者の理解と協力を得ることが大切であり、さらに適切なインプラントシステムの選択や術者の力量も重要であると言われていました。

インプラント治療を成功させるためには患者の理解と協力を前提に適切な診査・診断を行い、症例の難易を見極め、トラブル回避や術後の問題予測とそれに対する解決策を原則を持って日々臨床を行うことが必要があり、症例の難易に応じて専門医などに委ねることも大切だと思いました。

これからも患者様の立場に立った治療を行っていききたいと思います。



患者のための医療の十戒

- 医師と患者が十分に対話できれば病気の6割は診断がつく
- 治す医療から癒す医療へ
- 知恵は伝えなければ持ち腐れに終わる
- 医療の原点は手当て、その温もり
- 短い問診時間を最大限に生かそう

